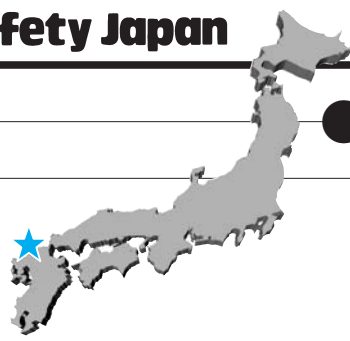


地域のチカラ

福岡県の交通安全活動



後部座席シートベルト着用の重要性を
より多くの県民に理解してもらったための取り組み

平成20年6月1日に施行された改正道路
交通法で、後部座席でのシートベルト
着用が義務化された。同年10月に警察庁
とJAFが合同で実施した「シートベル
ト着用状況全国調査」では、後部座席同
乗者のシートベルト着用率の全国平均は
一般道で30・8%、高速道路で62・5%。
都道府県別にみると、一般道における着
用率のワースト1位は福岡県で着用率は
8・0%だった。これを重くみた福岡県
では、後部座席でのシートベルト着用率
を向上させるためのさまざまな取組みを
始めた。

ワースト1位返上を
目指して

まず、四季の交通安全運動など、県全
体の交通安全推進母体である「交通事故
をなくす福岡県民運動本部」の構成メ
ンバーである市町村を含む実施機関・団
体の代表者を集め、「後部座席シートベ
ルト着用緊急対策会議」を開催。後部座

一般道でも着用義務が
あることを伝える

これらの取組みの推進を担当した福岡
県警察本部(以下、福岡県警)交通企画
課課長補佐は、「改正道路交通法で後部座
席のシートベルト着用については、高速
道路(高速自動車国道または自動車専用
道路)での違反に対してのみ、行政処分
の基礎点数1点が付されることになって

席シートベルト着用の義務化および非着
用の危険性等の講話、シートベルトコン
ビンサーによる衝撃体験を実施。交通安
全活動に携わる関係者全体で、シートベ
ルト着用の意義を再確認した。

その後、「交通事故をなくす福岡県民
運動本部」では平成21年2月1日から
10日間、「後部座席シートベルト着用推
進強化旬間」とする県民運動を展開。県
内全域で関係機関・団体と連携したキャ
ンペーンを行うとともに交通指導取締り
を強化したという。



「後部座席シートベルト着用推進強化旬間」ではシートベルトコンビンサー体験やハンドプレートによる啓発活動などが行われた

後部座席シートベルト指導報告書

項目	内容
指導日時	平成21年2月1日～10日
指導場所	福岡県内全域
指導対象	後部座席シートベルト着用者
指導内容	シートベルト着用率向上のための啓発活動

福岡県が独自に作成した「後部座席シートベルト指導票」

「啓発用のチラシには、一般道でも非
着用で死亡に至った事故事例を掲載しま
した。さらに、一般道における後部座席
の着用率は福岡県が全国ワースト1位で
あるという事実を伝えることで、県民の
皆さんに危機感を高めてもらおうと考え
ました。」

福岡県警では交通指導取締りにおいて
も工夫を行った。「高速道路では違反点
数がありますが、一般道ではありません。
そこで、独自に『後部座席シートベルト

福岡県一般道における後部座席シートベルト着用率
わずか8%…全国ワースト1位!

シートベルト非着用により死亡に至った県内の交通事故

- 高速道路では!
- 一般道でも!

啓発用のチラシにはシートベルト非着用により死亡に至った県内の事故事例を掲載



県下のタクシー事業者301社の責任者が出席して開催された「全席シートベルト着用推進に伴う事業者大会」

接、啓発ができ、着用率向上に効果があ
ると考えたわけです。お客様の安全を守
るのはプロのドライバーの責務というこ
とで、私たちの活動に賛同してもらいま
した」と課長補佐はいう。

福岡県警では関係機関・団体との連携
を強化した。社用車等の後部座席に乗車
する機会が多い県内大手企業の経営者や
役員と面談を行い、そうした方々に自ら
後部座席でシートベルトを着用してもら
うことで企業全体での着用の徹底を要請
した。さらに、福岡県タ
クシー協会に働きかけ
て、県下のタクシ事業
者301社の責任者が出
席しての「全席シートベ
ルト着用推進に伴う事業
者大会」を開催した。

「タクシードライバー
が積極的にお客様に着用
を勧めることで、クルマ
を運転しない方々にも直
接、啓発ができ、着用率向上に効果があ
ると考えたわけです。お客様の安全を守
るのはプロのドライバーの責務というこ
とで、私たちの活動に賛同してもらいま
した」と課長補佐はいう。

関係機関・団体との
連携を強化

指導票」を作成。それを一般道で後部座
席同乗者にシートベルトを着用させてい
ないドライバーに交付しました。違反点
数がないだけで、一般道でも着用義務が
あるということを多くのドライバーに知
ってもらうことが目的です。交付件数
は平成20年12月から平成21年12月にか
けて、約9500件になったそうだ。

後部座席シートベルト
非着用死者数が激減

後部座席シートベルト着用率の全国平均は
一般道で30・8%、高速道路で62・5%。
都道府県別にみると、一般道における着
用率のワースト1位は福岡県で着用率は
8・0%だった。これを重くみた福岡県
では、後部座席でのシートベルト着用率
を向上させるためのさまざまな取組みを
始めた。

「地道な広報啓発活動に
よって、後部座席シートベ
ルト着用に対する県民の皆さんの意識が
高まったのだと思います。全国ワースト
1位を返上できたことはもちろんです
が、平成21年中に県内で後部座席シート
ベルト非着用による交通事故死者数が2
人と前年(7人)に比べ大きく減少した
ことが、交通事故全体の死者数減少にも
つながったと考えています」と、課長補
佐は今回の取組みの成果を強調する。

広報啓発活動では「後部座席もきちつ
とカチッとシートベルト」をキャッチフ
レーズに展開。後部座席同乗者にアピ
ルするための啓発タグや携帯手鏡(あな
たのマナーがみんなの鏡)などを制作し
、配布した。また、福岡県警の交通企画課
員も大型商業施設でのイベントや地元ケ
ーブルテレビの番組に積極的に出演した
そうだ。

その後、こうした活動が
成果となって現れる。平成
21年10月に実施された「シ
ートベルト着用状況全国調
査」で福岡県における一般
道での後部座席シートベル
ト着用率は37・7%と全国
16位となったのだ(増加ポ
イントは全国1位、高速道
路は78・0%で全国8位)。
「地道な広報啓発活動に
よって、後部座席シートベ
ルト着用に対する県民の皆さんの意識が
高まったのだと思います。全国ワースト
1位を返上できたことはもちろんです
が、平成21年中に県内で後部座席シート
ベルト非着用による交通事故死者数が2
人と前年(7人)に比べ大きく減少した
ことが、交通事故全体の死者数減少にも
つながったと考えています」と、課長補
佐は今回の取組みの成果を強調する。



タクシー指導員による指導

後部座席も
きちつとカチッと
シートベルト!

あなたの
マナーが
みんなの
鏡です!

福岡県警察

啓発タグ(左)と携帯手鏡(右)